

社会を支えるインフラの安定稼働やカーボンニュートラルを実現するとともに、日本・アジアの安全保障に貢献

#### 社会システム事業

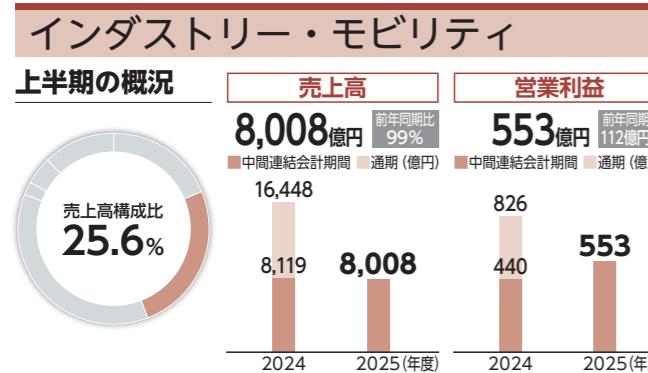
受注高は海外の交通事業の大口案件の減少などにより前年同期を下回りましたが、売上高は国内の交通事業や公共事業、海外向けUPS事業の増加などにより前年同期を上回りました。

#### エネルギー・システム事業

受注高は国内外の発電事業の増加により前年同期を上回り、売上高は国内外の電力流通事業の増加などにより前年同期を上回りました。

#### 防衛・宇宙システム事業

受注高は防衛システム事業・宇宙システム事業の大口案件の増加により前年同期を上回り、売上高は防衛システム事業の大口案件の増加により前年同期を上回りました。



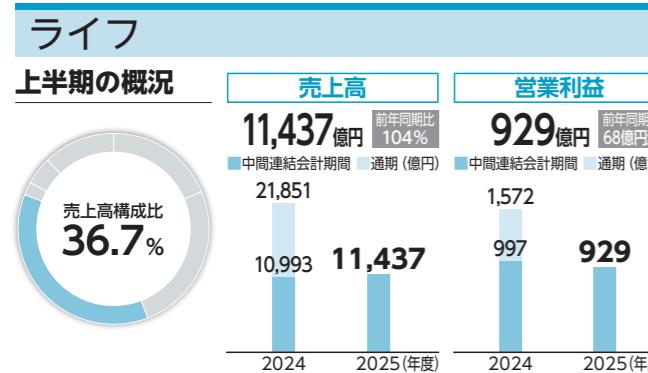
コアコンポーネントとデジタル技術で未来の“ものづくり”と“快適な移動”を支える

#### FAシステム事業

スマートフォン、AI関連の設備投資や工作機械関連需要の増加などにより、受注高・売上高ともに前年同期を上回りました。

#### 自動車機器事業

中国における日系自動車メーカーの販売減少による影響や、北米向けカーマルチメディアの減少などにより、売上高は前年同期を下回りました。



あらゆる生活空間において、快適で安全・安心な環境を創造するソリューションを提供

#### ビルシステム事業

受注高は国内向けの増加などにより前年同期を上回り、売上高はアジア(除く中国)・国内向けの増加などにより前年同期を上回りました。

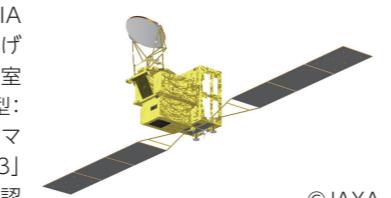
#### 空調・家電事業

価格改善の効果に加え、欧州・北米・国内での家庭用・業務用空調機器の増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。

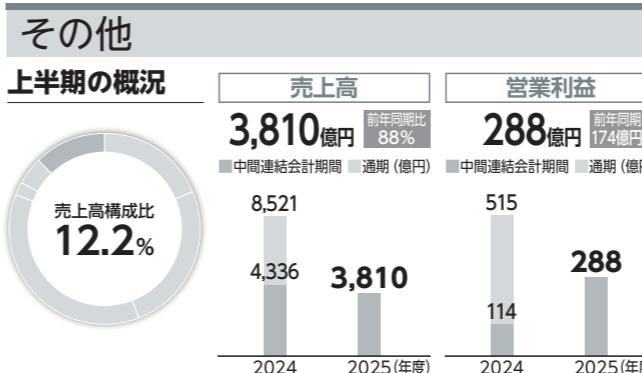
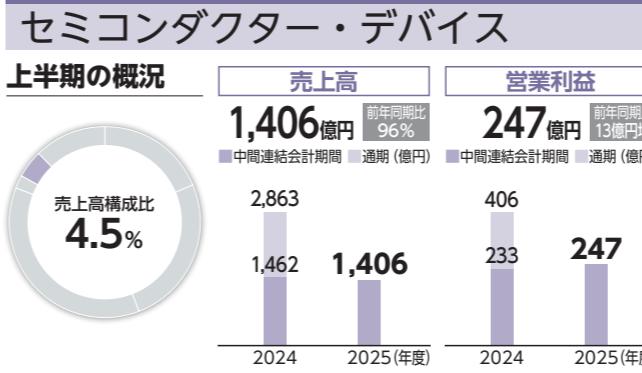
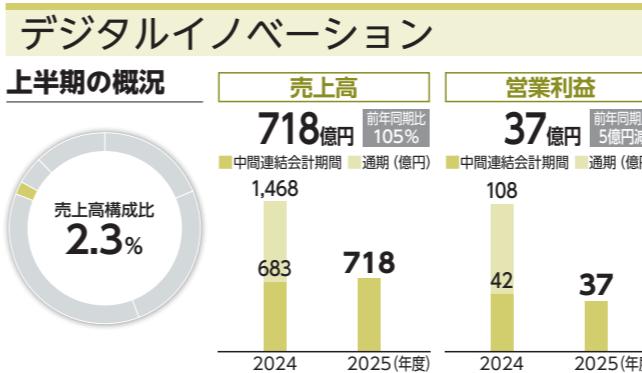


2025年6月29日にH-IIAロケットによって打ち上げられ、搭載されている「温室効果ガス観測センサ3型:TANSO-3」及び「高性能マイクロ波放射計3:AMSR3」による初観測データを確認しました。

いぶきGWの観測データは、今後、地球温暖化対策や気象予測、漁業など多方面への利活用が期待されます。



©JAXA



今回開発した手すりカバーは、植物由来のバイオマス素材として、りんごの搾りかすなどを原料にした合成皮革を採用した業界初の手すりカバーです。従来の合成皮革と比べて石油由来原料の使用を削減(りんごの搾りかすの場合25%削減)することができ省資源につながるほか、従来廃棄していたりんごの搾りかすをアップサイクルすることで、食品廃棄物の削減、CO<sub>2</sub>削減に寄与します。



情報システム・サービス事業  
製造DXソリューション事業、ITインフラ・セキュリティ事業などの増加により、受注高・売上高ともに前年同期を上回りました。

半導体の「進化」と「革新」で社会の変化を先導する

セミコンダクター・デバイス事業  
受注高はパワー半導体の減少などにより前年同期を下回り、売上高は通常用光デバイス、電鉄・電力向けパワー半導体の増加はありましたが、産業、自動車向けパワー半導体の減少により前年同期を下回りました。



インド新工場にてルームエアコンの量産開始  
需要増加が見込まれるインドの空調冷熱システム事業の拡大に向け、約267億円を投資し、空調機と空調機器用圧縮機の工場を建設。2025年10月よりルームエアコンの量産を開始することで、今後の需要増加に対応した製品の安定供給を図ります。



SiC/パワー半導体の生産体制強化に向け新工場棟を竣工  
近年、脱炭素社会の実現に向けた世界的な省エネ志向が高まっており、パワー半導体市場の中長期的な成長が見込まれています。特にSiC/パワー半導体は、電気自動車向けをはじめ、様々な応用分野において更なる市場の広がりが見込まれ、GX(Green Transformation)実現への貢献が期待されています。



当社は、この市場拡大を見据え、熊本県泗水地区にSiCウエハの大口径化(8インチ)に対応した新工場棟を建設し、2025年9月に竣工しました。今後も市況に合わせた生産能力の増強を実施し、高い生産効率の実現と更なる事業拡大を目指します。